

2021年6月29日

GlycoMark™ (1,5-アンヒドログルシトール検査) と COVID-19 患者の重症度に関連した研究結果が米国糖尿病学会で発表されました

弊社は、Precision Diabetes, Inc. (本社：米国ノースカロライナ、代表:Eric Button、以下 PDI 社) に血中の 1,5-アンヒドログルシトール (以下 1,5-AG) を測定する GlycoMark™ の測定試薬を独占的に販売し、販売活動のサポートを行っております。この度、PDI 社と Patia (スペイン・サンセバスチャン、以下 Patia 社) は、血中の GlycoMark™ 検査が COVID-19 患者、特に糖尿病のない患者において、ストレス性高血糖と重症度に有効なマーカーの可能性を示す研究結果を発表しました。本データは第 81 回米国糖尿病学会 (ADA) 学術会議で Late Breaking Abstract として発表されましたので、お知らせいたします。内容につきましては、こちら (https://www.prnewswire.com/news-releases/new-late-breaking-data-at-the-american-diabetes-association-show-glycomark-may-be-an-effective-test-for-covid-19-severity-301320337.html?tc=eml_cleartime) をご参照ください。

以上

【参考】

Precision Diabetes, Inc.について

PDI 社は、新しい糖尿病バイオマーカーとアルゴリズムを使用して糖尿病のプレジジョンメディシンを可能にする新興リーダーです。PDI 社の使命は、糖尿病の発症リスクから糖尿病合併症の発症リスクまで、さまざまな独自の糖尿病検査を提供することにより糖尿病の診断評価に革命を起こすことです。PDI 社は、米国、ヨーロッパ、オーストラリア、アジア太平洋地域、中東、及びメキシコでの GlycoMark™ テストの独占的サプライヤーです。詳細については、<https://www.precisiondiabetesinc.com> をご覧ください。

Patia について

Patia 社は、2型糖尿病と妊娠糖尿病のリスク評価、予防及び管理するためのプラットフォームソリューションを開発しました。また Patia 社は、一連の高性能の遺伝子型解析テストと予測アルゴリズム、デジタルアプリケーション、ライフスタイル介入を独自に費用対効果の高い方法で統合しました。Patia 社の活動は、Broad Institute of Harvard University and MIT (米国マサチューセッツ州ケンブリッジ) で実施された糖尿病に関する大規模な遺伝子研究の知見を転換することから始まりました。詳細については、<https://www.patiadiabetes.com> をご覧ください。

GlycoMark™ について

GlycoMark™ は血清及び血漿中の 1,5-AG を測定する検査で、2003 年に米国食品医薬品局 (Food and Drug Administration) の 510(k)承認を取得しています。日本化薬株式会社は GlycoMark™ の測定試薬を製造し、Precision Diabetes, Inc.へ独占的な販売及び販売活動のサポートを行っております。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

日本化薬株式会社

広報 IR 部：03-6731-5237

診断薬部：0120-877-150